

# 図書館の窓から

10  
2010.10  
No.130



(宙の話 稲田亜紀子/画)

## 【特集記事】

- ◆私の一冊  
雪国植物園 園長 大原 久治 さん…………… 2 p
- ◆WELCOME まちなか絵本館  
8月にオープンしたまちなか絵本館を紹介…………… 4～5 p
- ◆としょかんぶらす  
本の取次所 あります!こんなサービス…………… 7 p

2010  
国民読書年

2010年は国民読書年です

昨年度まで順調に伸びていた当市の図書館の貸出数が、本年度に入って減少気味です。一方で、図書館内で読書を楽しんでいる方は増えているような気がしたので、中央図書館の入館者数を調べたところ、やはり減少です。

一般に景気が悪くなると図書館の利用は増えると言われていきます。鈍っているのは、春先の天候不順と夏の酷暑のせいでしょうか。

もっとも、昨年度1年間に館外貸出をされた方（登録者数）の割合は、全市民の16%に過ぎません。また、インターネットによる予約件数も大幅に増えています。利用に必要なパスワードの登録人数は微増にとどまっています。これまでの利用増は、常連の方が数多く利用されていたということになります。

今後は、未登録者を対象に、登録者数を増やすことに力を入れていきたいと思えます。特

に、乳幼児のころから本に親しむ習慣が生まれるように、ブックスタート会場や子育ての駅において、読書の効果と図書館利用のPRに努めます。また、本年は「国民読書年」に当たります。中央図書館で5月に『図書館まつり』を開催したほか、各館で様々な行事を実施しています。参加者に、本の紹介をまじえながら、広く利用を呼びかけてまいります。

## 文書資料室だより

### 蔵書が語る歴史 ～『岩波写真文庫』

三島郡三島町上岩井安達家文書は、中越大震災の後に寄贈を受けた被災資料です。総点数5,395点のうち4,855点は、江戸時代から酒造業を営む安達家の七代目当主・源右衛門とその家族が、明治から昭和にかけて収集した蔵書です。醸造に関する図書が多いのはもちろんですが、哲学・宗教・歴史・文学・芸術など、内容は多岐にわたり、まるで小さな図書館のようです。その中の一つ『岩波写真文庫』は、保存状態も良く、写真好きの旧蔵者が大切に保管していたことがわかります。

昭和25年（1950）から8年半にわたって刊行された『岩波写真文庫』全286冊は、各冊一つのテーマに基づき約200枚前後の写真で構成されています。「50年代画像の宝庫」と称されるように、小さいけれど見応えのあ



安達家文書より『岩波写真文庫』

る写真集です。最近では、山田洋次・赤瀬川原平などの著名人の選で復刻版が出版されていますが、創刊当時のものは、なかなか目にする事ができません。

安達家文書の中の『岩波写真文庫』は277冊。わずかに足りない9冊は、旧蔵者が手許に置い

て愛読していたのでしょうか。それとも、震災後の混乱に紛れて無くなってしまったのでしょうか。災禍の中から救出されたモノクロの表紙の一枚一枚が、「昭和」という時代を力強く語り掛けてくるようです。

（桜井奈穂子）





# 私の一冊

『春の数えかた』新潮文庫  
日高敏隆／著  
新潮社

雪国植物園園長

大原 久治 さん

突然、東京の人から日高敏隆さんの『春の数えかた』という文庫本が送られてきました。添えられた手紙には、長岡のカマキリ博士酒井與喜夫よきおさんのことが「動物の予知能力」と題して載っているとありました。

実は酒井さんとは付き合いがあって、長岡技術科学大学の彼の学位審査の公聴会を私は傍聴しており、その時、生物学の立場から学位審査にあられた当時滋賀大学学長の日高さんの発言をお聴きしており、早速読み始めました。

カマキリ、ホタル、チョウなどの昆虫のことから、ハヤブサやヒキガエルのこと、更には関連する植物のことなど、さすが日本を代表する動物行動学者のエッセイだけに、面白いだけでなく示唆に富んだ内容で、雪国

植物園を通じて里山の自然生態系を見続けている者にとっては日ごろの疑問への答えで満ち溢れていました。この本で2001年の日本エッセイスト・クラブ賞を受賞されているだけのことはあり、実に読み易く、日高さんの大ファンになってしまいました。

何故かと考え、自然界の不思議を思い、まずは細密な観察から始まる姿勢に敬意と同時に知的興味を充分満足させられました。

その後、2007年に「日高敏隆選集」が出版され、第8巻まで続きました。超一級の生物学者の研究の結晶ゆえに、目から鱗の落ちる思いで読み進めました。その中で「あっ、そうだったのか」と驚きの大感激の部分がありました。

春の女神と呼ばれるギフチョウとカタクリの採蜜と受粉の関係、幼虫の食草であるカンアオイ類との関係は良く知られていましたが、カンアオイの花の授粉者となると私も含め周囲の誰もが知りませんでした。引用します。「カンアオイもまた、花というイメージとはおよそほど遠い花を、春早く咲かせる。三つの切れこみをもつ古代文明のつば壺みtainな花がひとつ、地面にぴったりつくようにして咲く。色はしぶい紫黒色である。蝶もこないし、ハチもこない。カンアオイにとって、花はカタツムリのために咲くのである。カタツムリが授粉してまわるのだ。」（『日高敏隆選集VI 人間についての寓話』ランダムハウス講談社 110頁より）

●● おおはら きゅうじ ●●

- ・昭和9年生まれ
- ・長岡市出身
- ・雪国植物園園長（社団法人平成令終会専務理事）
- ・著書に「雪国植物園の花々200選」「雪国植物園の花々300選」などがある





8月1日にオープンした「子育ての駅ちびっこ広場」。新たに約1万冊の絵本、育児書を備えた「まちなか絵本館」が加わりました。中央図書館の司書も、まちなか絵本館の運営をサポートしています。保育士と司書がいる全国初の施設「まちなか絵本館」とはどのような施設なのでしょう。

# W E L C O M E

## まちなか絵本館

開館時間：9:00～18:00 休館日：年末年始（12/30～1/1）  
 所在地：長岡市大手通2-5フェニックス大手ウエスト内3階  
 TEL：0258-39-2775 FAX：0258-39-2861  
 入館料：無料  
 駐車場：周辺の有料駐車場をご利用ください



- ふれあいギャラリー
  - 絵本の紹介や作品展など、いろいろな催し物を行います。オープニングイベントでは長岡出身の絵本作家、松岡達英さんの絵本原画展を開催。多くの方からご来館いただきました。



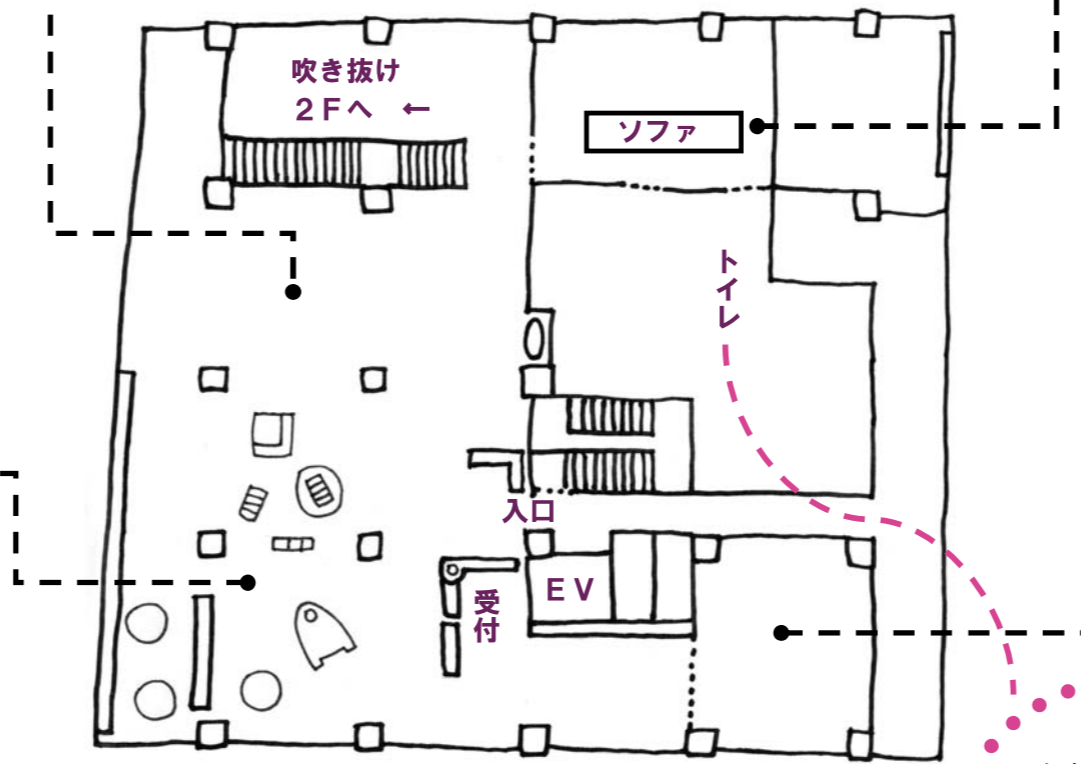
- おひさまひろば
  - 大手通に面した、まちなか絵本館で一番眺望の良い場所。子どもたちに人気の乗り物やふるさとの本、図鑑、低学年までを対象とした読み物があります。また、奥の部屋には子育て世代に関心が高い育児書も。ソファにゆったりと座りながら親子で本を読むことができます。



- えほんのひろば
  - 楽しい絵本がいっぱい。赤ちゃん絵本、3歳～5歳向け絵本と年代別に配架をしています。絵本を通じて、親子がふれあい、交流する場です。



**本選びに困ったら**  
 「どんな絵本があるの?」「離乳食の作り方が載っている本はある?」など、本に関するご質問に司書がお答えします。お気軽にお尋ねください。



まちなか絵本館で本を借りるには——  
 対象：子育ての駅利用カードをお持ちの方。初回に限り、貸出登録の手続きが必要です。住所を確認できるもの（健康保険証、免許証、自宅宛の郵便物など）をお持ちください。  
 ★子育ての駅利用カードをお持ちでない方は、2階「ちびっこ広場」で申請手続きができます。  
 貸出期間：2週間  
 貸出冊数：1世帯20冊まで  
 返却：まちなか絵本館の受付にお返しくください。  
 市内の図書館・市民センター・取次所では返却できません。

- みんなのひろば
  - 読み聞かせボランティアの方を中心としたサポート活動の場。まちなか絵本館では、ブックスタートやおはなし会の運営に参加して下さるボランティアを募集しています。連絡は下記まで。  
 ちびっこ広場 まちなか絵本館 ☎39-2775

おむつ換え用のベッドがあります。



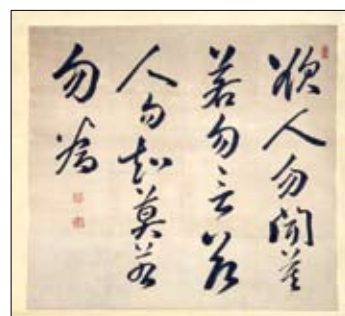
**おはなし会とブックスタート**  
**【おはなしパチパチ】** 月・水～日曜日 10:45～ 15分程度  
 ※行事などにより変更の場合があります。  
**【おはなしでてこい】** 毎週火曜日 10:30～ 20分程度  
**【ブックスタート】** 毎週火曜日 11:00～  
 ★ブックスタートは、健康センターの「赤ちゃん相談」で申込みをされた方が対象です。



木村誠一郎は号を竹軒<sup>とんそう</sup>と称し、書をよくしました。生年、没年はともに詳らかではありません。天保2年(1831)、長岡藩では、俊才を選抜して江戸遊学を実施しました。その中に、山田愛之助、高野松陰そして木村誠一郎がいました。(この時、中沢雪城は選に洩れたことを機に「天下に名を揚ぐべし」と、脱藩して江戸に出ました。)

木村は江戸に出て、古賀洞庵に朱子学を学び帰郷しました。その後、藩校崇徳館の朱子学派の都講<sup>とこう</sup>(現在の校長)であった高野松陰の後を受け継いで、都講となりました。

右の書の文意は、「人が聞きたくないと思っているならば、自分の方から言わないことがよい。又、知りたくない、あるいは知ろうともしない人であるならば、知らせないことにまざるものはない」です。聞く耳を持たない人、理解しようとする事のない人に、強いて話したり、教えたりしても無駄なことである、という内容です。(今井 雄介)



(文意は、本文に書きました)

欲人勿聞	莫若勿言	人勿知	莫若勿爲
人の聞く勿きを欲せば、	言ふ勿きに若くは莫し。	人の知る勿きを欲せば、	爲す勿きに若くは莫し。

郷土資料紹介 — 懐かしの風景 ③ 教育 —



『米百俵—その先の未来へ—』  
米百俵編集委員／編  
長岡市米百俵財団

明治3年(1870)、戊辰戦争後の窮乏のなかにあった長岡藩に、三根山藩から百俵の救援米が贈られてきます。その米百俵を国漢学校設立の資金として教育に使うと決断した長岡の精神は、今もなお受け継がれ発展し、世界へも広がっています。

米百俵の故事が、山本有三の手によって戯曲となり、海外の人の心を動かして学校ができ、また米百俵賞を生み、首相の所信表明演説の話題となるなど、その多様な広がりを本書で知ることができます。

(西 和美)



『南城先生の越後奇談』汲古書院  
郷 直人 長谷川潤次  
福原 国郎 村山 敬三／共編

『啜茗談柄』は「茶飲み話」という意味です。刈羽郡南条村(柏崎市)に私塾三余堂を開いた藍沢<sup>あいざわ</sup>南城<sup>なんじょう</sup>(1792-1860)は、塾生が悪い遊びに興じることを防ぐため、月3回の休講日に各地の奇談を語る談話会を催しました。

三余堂には、現在の長岡市域を含む越後全域から塾生が集まり、

明治5年(1872)の閉校まで、のべ1,000人余りが学んでいます。鬮牛、朝日百塚、即身仏など、17話の原文(漢文)と訓読・口語訳を併載した本書の行間からは、学業の合間に故郷の奇談を語り合う、先生と生徒の心の交流を読み取ることができます。

(田中 洋史)

## 今号のテーマ 本の取次所

市内7ヶ所の公共施設に設置されている本の取次所をご存知ですか？  
資料の返却や予約資料の受け取りなど、図書館サービスをご利用いただけます。

### 受けられるサービス

#### ■資料の返却

市内の図書館で借りた資料の返却ができます。

#### ■予約資料の受け取り

図書館窓口や図書館ホームページ（インターネット）、図書館内の蔵書検索機、米百俵号で予約した資料を受け取ることができます。

### 受付時間

#### ■8:30から17:30まで

※各施設の都合で受付時間が変わる場合があります。

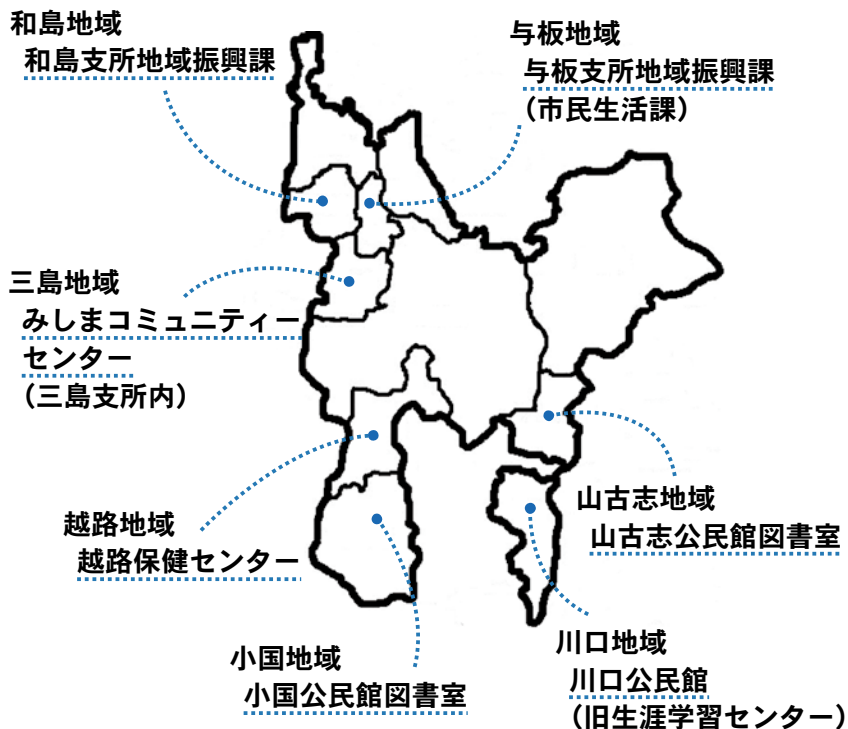
### 予約から受け取りまでの流れ

- ①予約をする際、受取希望場所を指定します。
- ②受取希望場所で資料の準備ができたものから、電話でご連絡します。
- ③貸出カードを持って受け取りにお越しください。

### 予約資料の取置期限

上記②にて取置期限の案内がありますので、その日までにお越しください。

### 取次所の場所



### 注意事項

- 資料を受け取る際は貸出カードが必要ですので必ずお持ちください。
- メールアドレスを登録されている方、連絡不要とされている方へも、取次所で受け取りを希望される場合は、全て電話でご連絡します。
- 相互貸借で他の図書館から借りた資料は、取次所で受取・返却することはできません。
- 予約資料は全て中央図書館を經由して各取次所に搬送されます。その際、処理の都合上貸出状況画面には貸出の表示がされます。
- 取次所に返却された資料の返却処理は、中央図書館に搬送された後に処理を行います。そのため、貸出状況画面や窓口での対応に数日の遅れが生じますのでご了承ください。

## イベントガイド（10月～12月）※全て参加無料です。

### 【読者のつどい】 互尊文庫1階 児童室 19:00～20:30

テーマの本の感想を話し合い、人生観や文学論などを自由に語り合う会です。  
10/22(金)『四十一番の少年』 井上ひさし／著  
11/26(金) 未定

### 【子どもの本を読む会】 中央図書館2階 講座室1 10:00～11:30

作者や作品についての感想、テーマの本についての思いを語り合う会です。  
10/13(水)『こすずめのぼうけん』 ルース・エインワース／著 他  
11/10(水) 詩の本  
12/8(水) クリスマスの本

### 【今森光彦写真展～昆虫4億年の旅～】 中央図書館2階 美術センター 日時：10/16～11/7 10:00～18:00 ※10/18・10/25・11/1は休館 10/31は17:00まで

今最も注目を集める世界的な自然写真家・今森光彦さん。世界中の昆虫を精力的に取材・撮影した写真約200点を展示します。関連行事の参加に関するお問い合わせは、中央図書館までお願いします。

#### 〈関連行事〉

#### 【文芸講演会～昆虫たちの不思議な世界～】

日時：10/16(土)14:00～15:30 受付中 ※一般向け

#### 【切り紙ワークショップ】

日時：10/24(日)14:00～16:00 受付開始日：10/10 ※小学生以上対象

### 【ディック・ブルーナに学ぶ モダンアートの楽しみ方】 栃尾美術館 **有料**

日時：9/18～11/28 9:00～17:00(発券は16:30まで) ※9/21・10/12は休館

現代のオランダを代表する絵本作家であり、グラフィック・デザイナーであるディック・ブルーナ。絵本の主人公「ミッフィー（うさこちゃん）」をはじめとする絵本の主人公たちを中心に、鉛筆原画やポスターのほか、ペーパーバックなどを展示します。期間中様々な関連行事が行われますので、詳しくは栃尾美術館までお問い合わせください。(電話0258-53-6300)

## 図書館ニュース

### ◆文化講座真っ盛り！

9月から12月まで、毎回多彩な講師を迎え、月1回文化講座を行っております。

11月は星野紀子さん（新潟県石仏の会会長）、12月は小川幸代さん（長岡大学教授）を迎え実施する予定です。

詳細は市政だよりやホームページ等にてお知らせしますので、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。



「キイロツノギスの顔」  
(コスタリカ)1993年 ©今森光彦

## お詫びと訂正

128号の『私の1冊』で、桜井カツエ氏の肩書きが「常務取締役」と誤った記載がされておりました。正しくは「専務取締役」ですので、お詫びして訂正いたします。

## ～～～あとかき～～～

国民読書年も終盤に差し掛かりました。図書館ではイベントや様々な資料を通して、最後まで盛り上がっていきますので、是非ご来館ください！ (渡辺 茂)

平成22年10月1日発行

編集・発行 長岡市立中央図書館

住 所 長岡市学校町1-2-2

編集員 渡辺 茂 渡辺 雄亮 山田 紀子  
金安 麻子 岩本 純子

メールアドレス lib@city.nagaoka.niigata.jp

HPアドレス http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

印刷 北越印刷(株)

名 称	電 話	休 館 日
中央図書館	32-0658	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 毎月の末日
互尊文庫	35-7981	毎週木曜日(祝日の場合は翌日) 毎月の末日
西地域図書館	27-4900	
南地域図書館	30-3501	
北地域図書館	22-7100	
中之島地域図書館	61-2165	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 毎月の末日
寺泊地域図書館	75-5159	
寺泊地域図書館 大河津地区図書室	0256-97-2497	
栃尾地域図書館	53-3005	互尊文庫と同じ
文書資料室	36-7832	互尊文庫と同じ
栃尾美術館	53-6300	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) ※展示替等による臨時休館あり